

08. トゥアंक・ミザン・ザイナル・アビディン・モスク(アイアン・モスク)



ピンクモスクから南へ徒歩 30 分ほどのところに黒とシルバーを基調としたアイアン・モスク(鉄のモスク)と呼ばれるモスクがある。

外からはモスクの象徴ともいえるドームが見えずイメージするモスクらしからぬデザインとなっている。

このアイアン・モスクの一番の特徴は、モスクの象徴であり礼拝の呼びかけアザーンなどを流すためのミナレット(尖塔)がない。

正式名称トゥアंक・ミザン・ザイナル・アビディン・モスクの最大収容人数は約 2 万人。またアイアン・モスクの名の通り、構造の 70%(約 6000t)に鉄の合金が使われている。

アイアン・モスクの両サイドには本来は水が張られていてデザイン性の高い構成であり、イスラム教にとって「水」は神から贈り物であり聖なるものの象徴の一つとして設置されているとともに、この位置に水場を置くことによって、昇化熱によってモスク内部に涼しい風を送る為の天然のサーキュレーターの効果をもたらすようになっている。その水場は実用性だけではなく水鏡のように風景を映し、風が吹くと水面が表情を変えるので空間に変化を与えている。

研修当日はメンテナンスもかねて水は抜いていた状態であったが、ガイドの話によると礼拝堂のところどころにサーキュレーターが設置してあり、柱のサイドから礼拝スペースに向かって吹くエアコンが設置されている。

竹内聡洋